

令和元年度 第2回学校運営協議会議事録概要

日時 令和元年11月27日(水) 15:30～17:30

場所 大阪府立堺工科高等学校 大会議室

1. 開会のあいさつ(校長)

2. 学校経営計画等について

- (1) 進路状況報告
- (2) 学校経営計画の進捗状況報告
- (3) 学習指導要領変更に伴うカリキュラムの検討について報告

3. 協議

(1) 英語教育の今後の発展について

- ・グローバル化が進み外国人とのコミュニケーションを避けて通れない時代となり、英会話が重要となっている。また、本校生徒の進路先である製造業についても外国人労働者が増加し、異文化の理解なども求められるため英会話と異文化理解は今後の教育に重要なものである。
- ・英会話も重要だが、国語力の低下も著しいものがある。英語圏だけでなく他の地域の外国人とのコミュニケーションをとるためにも母国語の理解も重要である。
- ・英語を話す機会や環境を多くつくるのが大切ではないか。英語だけで授業を受ける時間の確保や英語でプレゼンテーションするなど英語を聞く・話す機会を多くつくる必要がある。
- ・教材を工夫する必要がある。工業系の学校なのでいつも見慣れている図などを用いた英語の教材などを利用すると専門性も高められてよいのではないか。

(2) 学校教育自己診断の分析について

- ・学校自己診断のポイント数が比較的高く、生徒や保護者からの評価が高いこと伺える。ただ、数値は変動することは当然であり、敏感になりすぎないでいただきたい。これまでに達成したことに満足する瞬間も大切である。
- ・学校自己診断において大きくポイントが下回っている“各種会議で職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している”という項目が他に比べて低いことが気になる。会議の内容が報告会となっていないか、周知事項ならポータルサイトなど利用するような工夫をして、有効な意見聴取の場になればポイント数が上がるのではないか。
- ・資格取得について、進路先の会社などに必要な資格についてアンケートを取ってはどうか。その情報をもとに生徒へ資格取得を促せば取得率も上がり、また資格を持っているというプライドが生まれれば学習意欲にもつながらないか。
- ・出前授業において、ものづくりの楽しさをつたえるために、災害時に活用できるものなどを製作する内容にすれば学校の広報活動となるかも知れない。多方面に広報することで工科高校へ進学する生徒が増えるのでは。

4. 事務連絡

- (1) 令和元年度課題研究発表会 令和2年2月3日(月) 本校体育館
- (2) 第3回学校運営協議会予定 令和2年2月5日(水) 15時30分
(次回学校運営協議会と課題研究発表会を同日に行い委員の方が出席いただけるよう調整中)

5. 閉会のあいさつ(校長)